

FARROW & BALL®

CRAFTSMEN IN PAINT AND PAPER

製品アドバイスシート

Estate Emulsion

Farrow & Ball の塗料は環境に配慮し、すべて低量あるいは最低量のVOC (揮発性有機化合物)を含んでいます。
水性のため低臭で乾燥時間が短く、環境に優しい製品です。

製品のサイズ:

100ml	√	750ml	2.5L	√	5L	√	US Gallon
-------	---	-------	------	---	----	---	-----------

日本総代理店 株式会社カラーワークス www.colorworks.co.jp e-mail info@colorworks.co.jp

製品情報:

当社製品の代表格。マットでチョーキーな質感です。室内の壁や天井用。比類のない色の深さです。洗浄不可。

推奨プライマー&アンダーコート:

室内の壁、天井用 : Farrow & Ball Wall & Ceiling Primer & Undercoat

新しい漆喰面または未塗装の漆喰面の下準備 (モダン建築):

表面が白く粉を噴いていたり塗装面に剥がれがある不安定な漆喰は Farrow & Ball Masonry & Plaster Stabilising Primer を一層塗り、漆喰を接着させ、表面を密封します。その後 Farrow & Ball Wall & Ceiling Primer & Undercoat を一層塗ります。漆喰が新しく表面が安定している場合は、ご使用になるトップコートの色調に合う Farrow & Ball Wall & Ceiling Primer & Undercoat を水で希釈して塗った後、トップコートを二層塗ってください。(希釈に関する情報は下記をご覧ください)

注意: 新しい漆喰の場合、厚さ5mmにつき7日の乾燥時間(標準)をとることをお勧めします。

吸湿性が高い無垢の漆喰の場合は、トップカラーに合う色調の Farrow & Ball Wall & Ceiling Primer & Undercoat を水で希釈し一層塗った後、トップコートを二層塗ってください。(希釈に関する情報は下記をご覧ください)

標準希釈率 (最大):

無垢の漆喰(ドライスキム)、壁(ドライライン) = 水を最大20%加える。無垢の漆喰(ドライボード) = 水を最大15%加える
漆喰(パッチフィル) = 水を最大20%加える。注意: 希釈率は塗装表面の多孔性により異なります。

目立たない箇所を選びいろいろな希釈レベルを試し、もっとも適切な希釈率を判断してください。プライマーやアンダーコートを塗布しない場合は、代わりにトップコートを水で希釈して(およそ10%)、ミストコートとして塗ってください。

注意: 多孔性の高い漆喰に十分な処理が施されていない場合、トップコートを塗装しにくくなり、光沢に差が出たり色が不均一になる場合があります。

壁を再塗装する前の下準備:

再塗装を施す壁の多孔性が均一で、色を大幅に変えない場合は、トップコートを直接二層塗ってください。

(十分な塗り重ね時間をとってください) 壁がでこぼこしていたり多孔性が高い場合は、十分な塗り重ね時間を取り、トップコートを水で希釈して(およそ10%)下塗りとして塗布した後、無希釈で二層塗ってください。以前とは全く違う色にする場合は、

ご使用になるトップコートの色調に合った Farrow & Ball Wall & Ceiling Primer & Undercoat

を最低4時間の塗り重ね時間を取り一層塗ってください。その後、トップコートを二層塗ると隠ぺい力が高まり、色の深みが最大限に豊かになります。光沢性のある油性の表面を塗装する場合は、表面にやすりをかけ、洗剤で十分にきれいにしてから作業を始めます。

トップコートの色調に合った Farrow & Ball Wall & Ceiling Primer & Undercoat を最低4時間の塗り重ね時間を取り一層塗ってください。

その後、トップコートを二層塗ると隠ぺい力が高まり、色の深みが最大限に豊かになります。

ペイント下地用クロス[®]の塗装：

未塗装のペイント下地用クロスはご使用になるトップコートに合った色調の Farrow & Ball Wall & Ceiling Primer & Undercoat を水で希釈(最高15%)して一層塗った後(希釈に関する情報は下記をご覧ください)ご使用になるカラーを二層塗ってください。全く違った色を塗る場合は、Farrow & Ball Wall & Ceiling Primer & Undercoat を無希釈で一層塗ってください。注意：希釈率はペーパー表面の多孔性により異なります。

試し塗りを行い、適切な希釈率を判断してください。プライマーやアンダーコートを塗布しない場合は、代わりにトップコートを水で希釈して(およそ10%)、ミストコートとして塗ってください。

注意：多孔性のある紙に適切な下準備を施さない場合、塗装がやりにくく、光沢のばらつきや色にむらが出ることがあります。

室内用コーキング剤の使用：

小さなすき間や割れ目に詰め物をしたり

、密封する際は水性の柔軟性のある塗装可能なコーキング材を使用すると最善の結果が得られます。

必要なだけできるだけ少量のコーキング材を出して使います。少量の方が速く乾燥し、亀裂が発生しにくくなります。

メーカー発行の製品説明書に従い、十分に乾燥させてから(通常2~3時間)Farrow & Ball の塗料を塗ってください。Estate Eggshell、Full Gloss、Dead Flat は直接二層塗ってください。(最低4時間の塗り重ね時間をとってください)Estate Emulsion、Modern Emulsion –

トップコートの色調に合った Wall & Ceiling Primer & Undercoat を一層(無希釈)塗り、最低4時間乾燥させてください。

最低4時間の塗り重ね時間を取り、トップコートを二層塗ってください。

室内壁のフィラーの塗装：

補修した塗装表面と同じ多孔性と密度のフィラーを使用すると最も良く仕上がります。多孔性や密度が異なるフィラーを使用した場合、色や色調にばらつきが発生し見えることがあります。フィラーのメーカー発行の使用説明書に従い、十分に乾燥させた後、トップコートに合う適切な色調の Farrow & Ball Wall & Ceiling Primer & Undercoat を水で希釈して(20~25%)塗ります。(最低4時間の塗り重ね時間をとってください)その後、トップコートを二層塗ると隠ぺい性が高まり、色の深みが最大限に豊かになります。

刷毛の使用：

塗装表面は損傷箇所を補修し、清浄で乾燥した状態にします。

汚れや油分、その他の汚染物質をすべて取り除きます。もろくなった塗装層の上に塗る場合は、塗料を塗り始める前にもろい部分にやすりをかけると剥げ落ちや剥がれの発生を防ぐことができます。必要に応じ Farrow & Ball Wall & Ceiling Primer & Undercoat

を使用すると塗料の隠ぺい性が高まり、色の深みが増します。先の細いナイロン刷毛を使用して、塗料を垂直方向に塗った後、水平方向に均一に引き延ばしながら塗ります。刷毛目やパターン(光の加減により見えます)を最小限に抑え目立たないようにするため、仕上げの層は単一方向に刷毛を運びます。

ローラーの使用：

ローラーを使って塗装する場合—中毛ローラーを斜めに動かしながら‘M’、‘W’または‘V’字を描くようにして塗料を塗ります。

塗った箇所から手早く塗料を引き延ばし均一に塗りムラを埋めていきます。

塗装表面全体を小さいセクションに区切り少しずつ、この手順を繰り返します。乾いている箇所から湿っている箇所に向かって作業を進め、ローラーの跡をできるだけ少なくするため常に端を湿らせておくようにします。ローラーパターン(光の加減により見えます)を最小限に抑え目立たないようにするため、仕上げの層は単一方向にローラーを運びます。

スプレー設定：

エアレススプレー—吹き付け圧力2000-2700 psi (138-186 bar)、吹き付け角度65°/457µm に設定すると良い結果が得られます。

HVLPスプレー—器具の種類により、水で塗料を希釈してください。(最高30%)エアコントロールバルブ、流量調節、ファンのサイズ、スプレーパターンの設定を調整し、厚紙や目立たない箇所を使ってお望みの仕上げとなるまで試し塗りをします。十分な塗り重ね時間を取り、各層を乾燥させながら、数回薄く塗布します。

損傷箇所の補修とタッチアップの際の注意事項:

塗装面が傷んだり、跡がついたりしたら、再塗装を考慮されるとよいでしょう。
最善の結果が得られるよう、元々の塗装に使用したのと同じバッチの塗料を傷んだ壁全体に一層塗布してください。
このように正しい方法で塗布すると、色や仕上げに目に見えるほどのばらつきが発生するのを防ぐことができます。
損傷箇所をタッチアップする場合は、以下の方法で作業を進めると最良の仕上げとなります。
1. 極力同一バッチの塗料を使用するようにします。弊社では厳しい基準を設けて色の管理を行っておりますが、バッチが異なる場合、色や光沢に若干のばらつきが生じることがあります。
同一バッチの塗料を使用することが不可能な場合は、ばらつきを目立ちにくくするため、壁ごとに同一バッチの塗料を使い一層塗布することをお勧めします。
2. 補修作業を行う場合は最初に壁に塗料を塗った時と同じ手法で下準備を行ってください。
例えばテクスチャーや吸収性が異なるフィラーを使用したときなど、多少まだらに仕上がりが、必ずしも完璧な仕上がりとならない場合があります。
3. 必ず最初に壁に塗料を塗った時と同じ道具と手法を使用するようにしてください。
塗装にタッチアップを施す際は、古い部分と新たに塗った部分のつなぎ目が目立たないように、その部分をぼかすようにして施工します。
4. 壁に塗った塗料の色や缶の中の塗料の色は時間の経過に伴い変化します。
そのため、塗装後あまり時間が経たないうちにタッチアップを行う方が、より良い仕上がりとなります。
塗装面にタッチアップを施す際、薄い色や光沢度の低い塗料と比べ、暗い色や光沢度が高い塗料は均一に仕上げるのが難しくなります。

フォトフレーム:

Estate Emulsion は非常につやを抑えた仕上げのため、暗い色を塗る場合は注意が必要です。
フラッシング（端と端のつなぎ目が光ること）が発生しやすくなりますので、同一塗装面は一度に仕上げてください。

他の用途:

こちらでご案内している以外の用途で Farrow & Ball の製品をご使用になる場合は、弊社までご相談ください。株式会社カラーワークス www.colorworks.co.jp e-mail info@colorworks.co.jp

作業時の気温:

気温が 10°C 未満、あるいは 30°C 以上の場所で使用しないでください。

塗布面積 (㎡/ℓ 一層あたり):	乾燥時間:
最大 14㎡	乾燥時間 2 時間
塗り重ね時間(標準):	硬化時間:
2 時間後	完全な硬度、強度、耐久性を得るには、濃い色の塗料の色が 14 日かかることに注意してください。
標準塗装回数:	光沢レベル:
2 回	2%

注意:
乾燥時間、塗り重ね時間は通常の条件で塗装を行うことを前提としています。乾燥時間は低温の場所や高湿の場所では長くなる場合があります。
暗い色は乾燥時間が長くなる場合があります。

比重:	湿潤フィルムの厚さ:
1.2 - 1.4 g/cc	80 - 120 μm
アプリケーション湿度:	基質水分含有量:
< 80 % RH	石膏の壁と天井 = < 0.5%

吸水性 は DIN EN 1062-3 (w24 [kg/m²√24h]):

1.41 (Class I, limit >0.5) を遵守 塗装後 24 時間の塗装面 1m² 当たりの水分吸収量です。
w24 の数値が小さいほど、塗膜の耐水性が高いことを意味します。塗料の水分吸収率は Class I から Class III まで等級分けされています。

水蒸気透過性は DIN EN ISO 7783-2 (sd [m]):

0.010 (Class I, limit <0.14)を遵守 塗膜の水蒸気に対する耐性を空気の厚さ (単位:メートル) で示しています。sd 値が小さいほど、塗膜の通気性が高いことを意味します。塗料の通気性はClass IからClass IIIまで等級分けされています。

色の正確性:

使用前によく色を確認してください。間違った色を使用された場合、Farrow & Ball は塗装費用に対し責任を負いかねますのでご了承ください。同じ色が一缶以上必要な場合はバッチ番号が同じであることを確認してください。バッチ番号が異なる場合は作業開始前に塗料を混ぜてください。使用前によく掻き混ぜてください。

水がかかる場所:

本室内用塗料の仕上がりをできるだけ長持ちさせるため、平滑面に水がとどまることのないようご注意ください。

クリーニング:

Estate Emulsionは拭き取り不可。非常にマットな質感のため、色により洗浄すると表面に跡や傷がつくことがあります。高耐摩耗性が要求される場所には Modern Emulsionをお勧めします。

用具洗浄:

ブラシやローラーからなるべく多くの製品を取り除いてください。ぬるま湯または石鹼水で刷毛ならびにローラーを洗浄してください。

保管の際の注意事項:

製品は水性ですので、霜が当たるところや極度の高温あるいは低温の場所に保管しないでください。購入後6か月以内に使用してください。弊社は6か月を過ぎた製品やパッケージの劣化には責任を負いかねますのでご了承ください。

環境、廃棄に関する注意事項:

内容物/容器を国際・国・都道府県、又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。

VOC含有量に関する情報:

超 低VOC。本製品は最大6g/lのVOCを含有しています。

処方:

ビニル酢酸/エチレン共重合体バインダーを使用した水性塗料

安全衛生上の注意事項

1.使用前に取り扱い説明書を入手してください。2.すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。3.粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入をしないでください。4.この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないでください。5.保護手袋・保護衣・保護眼鏡・保護面を着用してください。6.飲んだり・目に入れたり・皮膚に付着しないようご注意ください。【緊急時、及び応急処置】a.飲んでしまった場合: ただちに水を与え医師の診断/手当を受けてください。b.目に入った場合: 大量の流水で洗い流し医師の診断/手当を受けてください。c.皮膚に付着した場合: 大量の石鹼水で洗い流し、痛みや異常がある時は医師の診断/手当を受けてください。7.ばく露またはばく露の懸念がある場合、医師の診断/手当を受けてください。8.施錠して子供の手の届かないところに保管してください。9.内容物/容器を国際・国・都道府県、又は市町村の規則にしたがって産業廃棄物として廃棄してください。10.本来の用途以外には絶対使用しないでください。11.衣類に付着した場合は、速やかにすべての汚染された衣類を脱ぐか付着物を取り除いてください。再使用する場合には洗濯してから着用してください。12.使用中・保管中は直射日光・水漏れ・凍結は厳禁です。輸送中・保管中は40°C以上、5°C以下にせず。きちんとフタをして、換気の良い場所で保管してください。13.塗装中・乾燥中は適切な換気が行える場所でご使用ください。14.取り扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。15.環境への放出を避けてください。容器からこぼれた時には、砂など散布した後、処理してください。

リードアドバイス:

施工前にはSDSを熟読し理解した上で、必ず試験施工をし、下地との密着を確認してください。雨や雪・湿度が高い日は避け、天気の良い日に塗ってください。気温、被塗物の温度が10°C以下・32°C以上・湿度85%以上または換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装をさけてください。マスキングテープは塗料が完全に乾く前にはがしてください。使い終わった道具は新聞紙などで塗料をよく拭き、乾く前に水でよく洗ってください。密着の悪い素材にはシーラー処理をしてください。重ね塗りをする際は、下地が完全に乾燥していることを確認してから施工してください。下地が動いた場合は、クラックが発生する場合があります。

お問い合わせ:

カラー、塗料仕上げ、壁紙に関するお問い合わせは弊社までご連絡ください。株式会社カラーワークス www.colorworks.co.jp e-mail info@colorworks.co.jp

免責事項：

この仕様シートに記載されている情報および技術的アドバイスは、口頭、書面、あるいは実演によるものであれ、ガイダンスとして誠意を持ってご案内しているものですが、塗装技術および現場条件について弊社では管理できかねるため、一切の保証をいたしません。詳細は、弊社のカスタマー・サービス部までお問い合わせください。そのような使用から生じた製品性能に関して、納入製品の価格を越える責任は負いかねます。これはお客様の法的権利に影響するものではありません。